



鷹野雅生 議会速報

# GASHIN

Vol.7 2013.9

〒614-8011 京都府八幡市八幡垣内山 47  
Tel 075-981-2496 / fax 075-981-5896

## はじめに

皆さん、おはようございます。

八幡みどりの市民の鷹野雅生です。

今回一番で質問させていただき、光栄に存じます。

それでは通告に従い質問をさせていただきます。

### この号の内容

- 1** はじめに
- 2-6** 観光の取り組み
- 7-11** 子育て支援施策
- 12-13** 【要望】観光取組
- 14-15** 【要望】子育て支援

---

#### "GASHINとは"

GASHINの心は鷹野雅生の雅を使い、私のいち早いお知らせの「信」であり「真」を述べ、私の「心」を語らせていただきたいと思います。

---

# 観光の取り組み

## 1つ目の大きな柱「観光振興について」

### +++++ 観光基本計画 +++++

私自身一期目の若輩ですが、議員活動の柱に据えているのが八幡市の観光開発です。

本市は男山や三川合流部などに代表される緑や水といった豊かな自然にめぐまれ、石清水八幡宮をはじめ、松花堂庭園、流れ橋、背割堤、飛行神社、正法寺、善法寺といった歴史のある観光スポットが豊富に存在していますがそれが必ずしも活かされていないことを残念に思うからです。

こういった財産をいかに活用し、八幡市の観光客を呼び寄せ、まちに賑わいを作りだしていくかが市に課せられた喫緊の課題だと思っています。

これまで幾度となく観光施策についての質問をさせていただきましたが、まだスタート台についたばかりのようでビジョンといいますか、基本方針が明らかになっていないように思われます。

今年の夏はJR東海の「そうだ京都、行こう。」キャンペーンの舞台に石清水八幡宮は取り上げられました。京都には世界遺産で有名な神社仏閣が幾らでもあります。その中で石清水八幡宮が選ばれています。

八幡に住む私たちは、八幡さんがあることは当たり前でそれ以上にもそれ以下にも思っていないませんが、伊勢神宮に次ぐ国家第二の宗廟といわれるほど日本を代表とする神社が八幡市にあるという事です。

JR東海のキャンペーン期間中、東京駅をはじめ、関東や東海地方の各駅には石清水八幡宮のポスターがばんばん貼ってありました。CMもこれでもかという程繰り返し流れていたと聞いてます。この波及効果は間違いなく出てくると思います。

観光振興については、堀口市長の政策方針の中で観光協会と連携を図り、駅前の観光案内書を拠点として観光客の誘致を図ると述べられています。

観光復興についてはまずまちのイメージを作っていくことが大事だと考えています。

今年度は観光行政の指針となる観光基本計画を改正されると伺ってます。

そこで何点かお伺いいたします。

# 観光の取り組み

## 質問

### ①観光基本計画の内容について

⇒観光基本計画のどこをどう変更するのか。なぜ変更するのか、それを明確にお示し下さい。

### ②観光のまちの目指すところについて

⇒観光面での望ましい将来像を明確にした上で個別の計画項目が出来ていくものと考えますが、今回改正される観光基本計画は一言で言うとどのようなまちを目指そうとされているのかお聞かせ下さい。

### ③観光行政の課題について

⇒観光基本計画を改正するにあたり、観光行政の課題は何かお聞かせ下さい。

### ④観光基本計画の貝瀬までの流れについて

⇒観光基本計画の改正はコンサルに丸投げする事なく市民の声を聞き、市民共同でつくるべきと思いますが、改正までの流れとパブリックコメントや市民参加についてどのようにされるのかお聞かせ下さい。

### ⑤観光基本計画の軸について

⇒石清水八幡宮は日本を代表とする貴重な神社です。そこで観光基本計画で石清水八幡宮を軸とした観光計画を立てていかれるかと思いますが、いかがでしょうか。

## +++++ 観光関連事業 +++++

本年4月に観光協会は法人化され、着実に充実した事業を展開されています。

ホームページもリニューアルされ、情報量も増えて見やすくなりました。

アクセス数も多く、積極的に情報を発信されていることがわかります。JR東海のキャンペーン期間中は、午後8時まで観光案内書の業務時間を延長し、観光客への対応をされたと伺っています。今年度、市が観光協会への支援を充実されたことにより、その効果がでてきているものと評価していますが、今後、ますます充実した事業を実施していただきたい、そういう思いで各種事業についてお伺いいたします。

## 質問

### ①JR東海キャンペーン中の実績について

⇒期間中の観光の入り込み客数と観光案内所の実績を教えてください。観光案内所は観光の営業拠点でもあり、人の流れをつくっていただきたいと思います。

### ②今後について

⇒JR東海のキャンペーンを市として今後どういかしていくのかお聞かせ下さい。

# 観光の取り組み

## ③情報の発信について

⇒スマートフォンを活用した観光情報の発信について現時点での状況をお聞かせ下さい。

## ④情報の充実について

⇒SNS、ソーシャルネットワーキングサービスのソーシャルメディア、ツイッター、フェイスブックを活用して八幡市の情報発信していくべきであると思いますがその取り組みについてはどのようにお考えでしょうか。

## ⑤八幡市民への周知について

⇒市外から多くの観光客が来られてるのに自分が住んでいるまちの観光スポットを知らない市民の方が多くおられるのではないかと思います。JR東海のキャンペーン中、石清水八幡宮の夜間特別拝観を知らない市民の方が多くおられたと伺っていますがどのように周知されたのか教えてください。

また、八幡市の観光スポットを市民の皆さんにも知っていただきたいと思うのですが、市のお考えをお聞かせ下さい。

私が議会において観光をテーマに毎回のようにお尋ねしていますのも、初めに申しましたとおり本市には観光資源がたくさんあるからです。

身近にあるもの、いつも見ているものの良さはなかなか気付かないと申しますが、今回幸いにもJR東海のキャンペーンで、石清水八幡宮がすばらしい観光資源であることに気付かせてくれたのだと思います。

観光とは文字通り、光輝くこと、光を観ること、光輝くところを観ることが観光です。ですが、勝手には光りません。金剛石も磨かずばの歌のように、ダイヤモンドでさえ磨かないと光りません。原石を見つけ出し光らせる、磨く努力が必要です。八幡の観光スポットと言いながらもまだ原石状態のところもあると思います。

今、各都道府県が富士山と美保の松原に続けとばかりに、新たな観光地づくりに励んでいます。それは各都道府県の特徴を生かして、人を呼ぶこと、にぎわいをつくることの大切さに気づいているからです。我がまち八幡にある光輝くところを大切に、より光り輝かせる努力、光を点から面に拡げる努力が欠かせません。仮に光輝くところが少なければ、新たに作り出すアイデアと想像力、実行力が必要となってまいります。

お隣の向日市が食の分野で激辛食品と激辛横町で全国に知られるようになってきたことも学びたいものです。

# 観光の取り組み

+++++ 観光基本計画 +++++

## 答弁

### ①観光基本計画の内容について

⇒近年の観光の傾向は、個々の興味や関心を探究する多様な旅行へ細分化してきており

\* 名所旧跡などの与えられたものを観るだけのいわゆる【物見型観光】

\* 観光地が織りなす物語の中に入り込み、その世界を体感、学び、遊ぶことで精神の高揚や癒し感動を得る【体験型観光】

の二極化しつつありますことから、このようなことに対応するため観光基本計画を改定するものでございます。

### ②観光のまちの目指すところについて

⇒再びを訪れていただける状況を創出するため、男山や三川合流部等の豊かな自然環境、そして石清水八幡宮や松花堂昭乗等の歴史文化の観光資源を最大限に生かし、観光行動を物語として構築する【物見型観光】の取り組みを進めることにしております。

### ③観光行政の課題について

⇒物見型観光を含め、観光客にお越しいただくには、本市だけでなく周辺地域との連携が不可欠でございます。再び本市を訪れていただける状況を創出するため、観光客に満足していただける地域資源の発掘と活用が必要であると考えております。

### ④観光基本計画の貝瀬までの流れについて

⇒観光基本計画の改定案の取りまとめをするため、関係課による八幡市観光基本計画庁内推進委員会を設置いたしました。また、学識経験者や観光に関係する団体等で構成する仮称八幡市観光基本計画検討懇談会を設置し、計画改定に関する意見交換及び助言をいただき、計画案を取りまとめ、来年1月をめどにパブリックコメントを実施した後、計画を策定する予定とじているところでございます。

### ⑤観光基本計画の軸について

⇒歴史文化の観光資源を最大限に生かす【物見型観光】を取り組むには石清水八幡宮は重要な柱であると考えております。

# 観光の取り組み

+++++ 観光関連事業 +++++

## 答弁

### ① JR東海キャンペーン中の実績について

⇒キャンペーン期間中の石清水八幡宮の観光入込客数につきましては、約6万8,000人で、前年に比べ約2倍でありました。  
観光案内所の実績につきましては、観光案内件数は約2,100件で、前年に比べ1.4倍でありました。

### ② 今後について

⇒今後につきましては、旅行事業者から秋以降も夏のキャンペーンの影響で、関東、中部地方から多くの観光客が訪れることが見込まれると伺っております。これを機会に、石清水八幡宮では、観光協会、商工会、京阪電鉄及び行政機関などと協議をする場を設けられ、今後も引き続き関係機関と連携して、観光施策の取り組みを協議してまいりたいと考えております。

### ③ 情報の発信について

⇒スマートフォンを活用した観光情報の発信につきましては、観光協会では今年度にスマートフォンに対応した地図アプリケーションを活用し、推奨の観光ルートを登録して観光案内されるとのことでございます。また、外国人観光客がふえる中、基本的な観光情報を英語に翻訳して、外国人旅行者のサポートを行うとお聞きしております。

### ④ 情報の充実について

⇒ソーシャルメディアの活用につきましては、今年度、観光協会ではフェイスブックを利用して観光情報を発信されるとお聞きしております。

### ⑤ 八幡市民への周知について

⇒石清水八幡宮の夜間特別拝観の周知につきましては、本市では市の広報誌、ホームページに掲載し、京阪沿線の各駅に広報PR詩を配布いたしました。  
観光協会では、駅前の展示場でのポスターの掲示やホームページに掲載され、また、商工会では会員への案内及び新聞折り込みや京阪電鉄では、社内及び駅舎でのポスター掲示や社内放送による案内が実施されました。さらに新聞報道では、夜間特別拝観の紹介や関連イベントの記事が掲載されたことなど、一定の周知は図られたものと考えております。八幡市の観光スポットの市民への周知につきましては、観光協会を中心に、NPO団体等とも共同して、市内を探訪する取り組みを進めていただく予定でございます。

## 2つ目の大きな柱「子育て支援施策について」

人口減少の到来に向けてその減少幅をいかに少なくするか、その一朝一夕ではできない対策について、平成25年度の施政方針で、子育て環境の整備をさらに進めるため、美濃山地域への新たな子育て支援施設の建設につきまして、平成26年度中の完成を目指して取り組むと市長が述べられています。また当初予算で実施設計、業務委託費として1,000万円が計上されました。これを踏まえ第2回定例会で第3子育て支援センター整備にある進捗状況をお聞きしました。

答弁では、現在土地所有者及び設計事務所と協議中であり、整い次第予算を計上していくとのことでありました。

今回定例会の一般会計補正予算で、第3子育て支援センター整備事業に11億5,000万円が計上されました。

質問をさせていただいてからおよそ2カ月で協議を整えていただき、大変ご苦労があったことと推測いたします。新聞報道では完成予想図も掲載されており、これまでに八幡市で建設されたことがないインパクトの強いおしゃれな建物であると感じました。また、建設に当たり府内産木材を使用されているとのことで、ぬくもりのある優しい施設という風にも感じており、さらには敷地も広く、子どもを連れて家族で楽しめるように思います。

今後の本市における子どもを生み育てやすい環境づくり、子育て世代を八幡市に迎え入れ、八幡市で育て、八幡市で暮らすといった人口抑制対策の市の思いを感じています。それでは、何点か確認をさせていただきます

### +++++ 第3子育て支援センター整備事業の概要について +++++

#### 質問

#### ①設計事務所との協議の経過について

⇒新聞に掲載されました完成予想図ではありますが、あくまでも予想図であります。協議の経過、並びに、整備にあたってのコンセプト、その経過を教えてください。

#### ②耐用年数、耐震について

⇒府内産木材を利用した木造2階建てとお聞きしましたが、木造は鉄筋コンクリートと違い、耐用年数が低いように思いますがいかがでしょうか。また、耐震についてもお聞かせ下さい。

#### ③2階部分について

⇒エレベーターの設置についての説明がないように思いますがどうしてでしょうか。また、2階部分の活用について具体的にお聞かせ下さい。

#### ④対象地区と機能について

⇒当該施設は美濃山地域の方のみを対象とされているのでしょうか。また、男山中学校にはそよかぜが、男山第三中学校区にはあいあいポケットがあります。当該施設を男山東中学校区とする考えならば、男山第二中学校校区にも整備されるのでしょうか。また、この第三子育て支援センターは、そよ風、あいあいポケットとは全く同様なものなのかお聞かせ下さい。

# 子育て支援施策

## ⑤他の施設への転用について

⇒現在、美濃山地域では子育て世代が増加しており、また、人口減の抑制対策として子育て世代を積極的に迎え入れる策を進めていただきたいと思います、いずれは高齢化社会になってしまいます。そうしたときに当該施設について、高齢者施設への転用についても考えられるのではないかと思いますがいかがでしょうか。

+++++ 第3子育て支援センター機能面について +++++

## ①設置内容について

⇒3歳未満の乳幼児とその親と一緒に遊び、交流ができるスペース、ベビールーム、離乳食講習が可能なキッチンスペース、放課後健全育成施設などが設置される予定ですが、図書館コーナーについてはどうされるのか。また、その考え方について教えてください。

## ②フリースペースについて

⇒市民や親と子が学べる講習室のようなフリースペースは設置されるのでしょうか。

+++++ 施設を利用した相談事業について +++++

最近の子育ての課題は核家族化が進み、また、地域のコミュニティの希薄化などからの子育てに対する過剰なストレスの解消ではないかと考えております。相談相手や同じ子育て世代の人たちと交流や情報交換ができない、そういったことで虐待などが起こり得る可能性が高くなっているのではないかと考えています。

また、子どもの発達に不安がある場合の親のストレスは計り知れないものがあるのではないかと思います。そこでお聞きいたします。

## 質問

### ①育児相談室の利活用について

⇒育児相談室の利活用について教えてください。また、当該施設の発達相談の実施と今後の市の発達相談への対応、例えば方についてもお聞かせください。

### ②子育て世代の交流について

⇒親と子ども、子育て世代の交流について、現時点でどのような事業をお考えになっているのかお聞かせください。

# 子育て支援施策

## ③相談を受けやすい体制づくりについて

⇒相談を受けやすい体制づくりをつくるために、どのような取り組みをされるのかお考えをお聞かせください。

## ④相談所について

⇒乳幼児期の発達相談、発達診断などの相談所の機能に近いものをお考えおられるのかお聞かせ下さい。

子育て支援に特化した施設とのことであるため防犯面には特に留意すべきであると考えます。また、これほど大きな施設です。職員配置についても十分考慮する必要があると思います。そこでお聞きいたします。

## +++++ 施設の管理運営について +++++

### 質問

#### ①所員総数について

⇒現在、市は定員適正化計画により、所員総数 599 人を超えることができないのではないかとありますが当該施設を運営するに当たり、現時点では何人ぐらいの職員配置をお考えおられるのでしょうか。また、専門家の人材配置は考えておられるのか。

#### ②開館日について

⇒開館日はどのような予定になっているのかお聞かせください。

#### ③利用条件について

⇒当該施設の地理的条件は、京田辺市、枚方市との隣接地でもあり、また、近隣県内の地域から来られる大型商業施設もあります。このような中で、施設利用者は市民のみとされるのかどうかお伺いします。また、利用料の徴収について考えられているのでしょうか。

#### ③アクセスについて

⇒当該施設へのアクセスについてお聞かせください。

私が住まいする八幡市市駅周辺地域、橋本地域などから、当該施設へ行くにはバスを乗り換えるか自家用車でしか行けません。また、乳幼児を連れての移動は大変だと思います。そのことから、南北線バスについて再検討いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

## +++++ 第3子育て支援センター整備事業の概要について +++++

### 答弁

#### ①設計事務所との協議の経過について

⇒5月から、基本設計と並行して実施設計の協議を行い、8月に基本設計と工事概算見積書が設計事務所から提出され、11月には実施設計が完了する予定でございます。

コンセプトは木材の持つ暖かな素材感とともに幾何学的な立体を構成した府内産木材を使用した木材建築としております。

また、建設の経緯といたしましては、中学校区に1カ所の子育て支援センターを設置する計画により、とりわけ乳幼児が多い美濃山欽明台地区の子育て環境の充実を図るため、整備を行うものでございます。

#### ②耐用年数、耐震について

⇒耐用年数についてでございますが、鉄筋コンクリート造や鉄骨造と比べて木造は建物の寿命も短いと思われがちですが、タイコウ性や防虫性、防腐性など、木材を長持ちさせる設計上の工夫やメンテナンスを行うことで長寿命化を図ることが可能であると考えております。

耐震につきましても、縦揺れ地震などの垂直荷重や台風などの横揺れからの水平荷重も瞬時に建物全体に分散し受けとめる構造となっており、行動計算はコンピュータ解析を行うことといたしております。

#### ③2階部分について

⇒2階の活用についてでございますがデザインのコンセプトにより、書庫や備蓄倉庫など、職員専用スペースとして使用するため、エレベーターの設置は考えておりません。

#### ④対象地区と機能について

⇒国の子育てビジョンを踏まえ、本市におきましても中学校区に1カ所の子育て支援センターを設置する計画でございます。

第3子育て支援センターの位置づけでございますが、既存の施設とは大きく異なり、子育て支援の総合センターとして、その機能を有するより充実した施設にしたいと考えております。

#### ⑤他の施設への転用について

⇒時代の変化に対応できるように躯体部分と各部屋に分離した造りとしており、将来の転用も可能としておりますが、現時点では子育て支援に特化した施設の整備を行い充実した事業展開が行われるよう取り組んでいるところでございます。

## +++++ 第3子育て支援センター機能面について +++++

#### ①設置内容について

⇒図書コーナーにつきましては絵本パズルルームとして読み聞かせやお話をしたり、パズルなどで遊べる場として静的空間を確保するために独立した部屋とする予定でございます。

#### ②フリースペースについて

⇒講座や研修会を行うスペースといたしましては多目的ホールの設置を計画しております。

## +++++ 施設を利用した相談事業について +++++

### 答弁

#### ①育児相談室の利活用について

⇒現在の指月の子育て支援センターにおきましても、保育士や保健師が子どもの生活や育ち、発達などに関する相談に対応しておりますので、新設の子育て支援センターにおきましても適切に対応できるようにしてまいりたいと考えております。

#### ②子育て世代の交流について

⇒交流事業や相談体制の取り組みに関しましては、現時点ではハード面に集中して取り組んでおりまして、今後1年間で視察や研究を行いまして、ハード面とのバランスがとれるよう充実した事業内容を検討してまいりたいと考えております。

#### ③相談を受けやすい体制づくりについて

⇒相談業務に関しては利用者のプライバシーを確保するために、専用の出入口から入出できるよう独立した部屋を設置する予定でございます。

#### ④相談所について

⇒乳幼児の発達に関しましては、保険、医療、福祉、教育等が連携して適切に支援していく必要があると考えており、京都府を含めた関係機関との連携とそのネットワークの強化に取り組んでまいりたいと考えております。

## +++++ 施設の管理運営について +++++

#### ①所員総数について・②開館日について

⇒①所員配置と②開館日につきましては、事業展開がどのような機能を強化するかなどによりまして影響されることとなります。さきにご答弁申し上げましたように、ソフト面につきましては、実施設計の完了後に検討することといたしております。

#### ③利用条件について

⇒既存の施設と同様、市外の方のご利用は想定しておりません。

また、材料代や資料代など、必要最小限の費用をご負担いただく場合がございますが、それ以外の利用料を徴収する予定はございません。

#### ③アクセスについて

⇒南北路線バスにつきましては、平成2年度から平成12年度にかけ、運行を実施され、また平成20年10月からはコミュニティバスを約6カ月試行運転いたしました。いずれも利用者が少なく廃止に至った経緯がございます。

その後も南北路線バスについては、京阪バスにルート変更等の要望を行っておりますが、採算性等の問題があり、進展していない状況でございます。

しかし、本市のバス交通につきましては、南北方向の路線がないことなど、将来的な課題ではございますので、今後、検討してまいりたいと考えております。

# 観光の取り組み

## 【再質問】

観光振興についてであります。八幡市には近隣のまちには負けない観光資源が豊富にあります。何もないと言わないんですが、ないならつくる努力も必要です。せっかくあるんですから、もっと生かして、人が賑わう活気のあるまちにしていきたいです。八幡市のためにやっていきたいと思っています。

冒頭に、堀口市長から、本市にとって、観光は人が集い、豊かな自然と歴史文化を生かした魅力ある観光が振興し、観光を通じて市民生活や産業の活性化を図りたいとご答弁がありました。そのために、今年度は観光基本計画の見直し図られることも理解、了承しました。

今後、新しい観光基本計画にのっとなって成果が上がる、結果の出る観光施策を進めていっていただきたいと要望しておきます

### 再質問

#### ①効果的な観光基本計画について

⇒観光基本計画を効果的に進めるために、観光関係機関団体と連携し観光振興のアクションプランを策定してはどうかと考えますが、お考えをお聞かせください。

#### ②NPO団体との連携について

⇒八幡市の観光スポットを市民の皆さんに周知していただくために、NPO団体とどのように連携を図っていかれるのかお伺いします。

#### ③JR東海のキャンペーンを活かす具体策について

⇒JR東海のキャンペーンを生かす具体策として京阪電鉄に働きかけ、八幡市駅に男山ケーブルで石清水八幡宮へ登ろうと表示するよう呼びかけてはどうでしょうか。今、男山ケーブル駅にある石清水八幡宮夜間特別拝観の看板と竹のモニュメントですが、秋以降も夏のキャンペーンの影響で、関東、中部地方から観光客が訪れることが見込まれています。なくなると寂しいと思うのですが、キャンペーン終了後も看板や竹のモニュメントの更新をしてもらえるのでしょうか。

#### ④キャラクターの活用について

⇒八幡特産品の販売促進キャラクター、たけちゃん、のこちゃんがありますが、観光振興のキャラクターに活用してはいかがでしょうか、お考えをお伺いします。

### 要望

最後に、観光振興を取り組んでいくに当たり、行政と観光協会のチームワークも大事だと思います。今後、行政と観光協会の連携を密にし、観光振興に取り組んでいただき、観光協会へのより積極的な支援をしていただけるよう要望します。観光振興が集客により商業の活性化につながり、まちの活性化が期待できると考えます。よろしくお祈いします。

## 観光の取り組み 【再質問】

### 答弁

①効果的な観光基本計画について

⇒観光振興のアクションプランの策定につきましては、今回改定をいたします観光基本計画に実施計画的なものを記載する予定でございます。

②NPO団体との連携について

⇒観光スポットの周知に関し、NPO団体との連携につきましては、観光協会においてNPO団体等と共同して観光スポットを探訪する取り組みを進められるよう協議をしてみたいと存じます。

③JR東海のキャンペーンを活かす具体策について

⇒キャンペーンを活かす具体策については八幡市駅及びケーブル駅の看板などを観光協会、石清水八幡宮と協議をし京阪電鉄に更新していただけるよう要望をしてみたいと考えております。

④キャラクターの活用について

⇒商工会の販売促進キャラクターたけちゃん、のこちゃんにつきましては、今後観光振興として活用が可能か、商工会と観光協会と協議をしてみたいと存じます。

# 子育て支援施策 【再質問】

子育て支援についてであります。第三子育て支援センターが子どもを中心として子育て世代を呼び込んで、人口減少を抑制する大きな柱の一つとなることを期待しています。

また、府内産木材を使って環境に気配りされたホールが誕生することは喜ばしいことで、期待をして見守っていきたいと思います。開館日が土曜日、日曜日の場合、第三子育て支援センターの近くには大型商業施設もあり、渋滞が心配であります。渋滞の対策をとっていただきたいと要望しておきます。

ソフト面については、現時点ではハード面に集中して取り組んでいくということですが、このような大きな施設を活用して、早期の相談、早期の改善に取り組んでいただきたいと思うのですが、そのためにも一般職員としての人材確保と相談機能の充実の方向が大事になってくると思います。

## 質問

### ①人材の確保について

⇒非常勤職であっても子育てサポートの人材を有効に機能させていくためには、職能を理解する職員が必要です。職員の研修機会を設けることも大事ですが、一般職の新規採用の機会に採用試験で発達心理学を勉強している人材が応募すれば確保することも必要ではないでしょうか。お考えをお聞かせください。

### ②府との連携について

⇒先ほどのご答弁で、健康、医療、福祉、教育などが連携して適切に支援していく必要がありますので、京都府を含めた関係機関連携とそのネットワークに取り組んでまいりたいとご答弁がありました。

例えば府立こども発達センターが京田辺支所、宇治児童相談所などにありますが、八幡市にはこのような機能を持つ機関は現在ないのか。また、今後、こうした府の施設とどのような連携を図ろうとしているのか教えてください。

## 要望

### 定員適正化計画について

⇒職員総数 599 人という定員適正化計画の中、厳しい状態の中でも職員の皆さんが頑張っておられますが、このような大きな施設を建設することで職員配置の課題があると思われます。施設の統廃合なども検討していただいて、定員適正化計画の中での配置をお願いしたいと要望しておきます。

### 相談機能について

⇒子育て支援の枠組みの充実は将来にわたって大変重要であると思います。乳幼児の親が持つ様々な子育て上の悩みに応じていく相談機能をぜひ充実させてほしいと思います。また、相談と診断の結果が就学相談に生かされることが予想されます。教育委員会と学校園との連携も図っていただきたいと要望しておきます。

このような大きな施設なので、ハード面とのバランスがとれるよう充実した事業内容をしっかり検討していただきたいと要望します。

## 子育て支援施策 【再質問】

### 答弁

#### ①人材の確保について

⇒職員採用に係りますご質問でございますが、現在行っております一般事務職の職員採用試験の合否判定基準には、心理士等の資格は含まれておりません。  
心理士等の職員等の採用につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。

#### ②府との連携について

⇒京都府の宇治児童相談所の南部家庭支援センターなどとの連携に関してでございますが、児童福祉法では、市の相談業務のうち専門的な知識や技術を必要とするものにつきましては児童相談所の技術的援助及び助言求めなければならないとされているところでございます。  
このことから、専門的な対応が必要なものにつきましては、今後も市と府で十分連携して対応を図ってまいりたいというふうに考えております。